



## 保健・医療・福祉・介護職に関する進路セミナー

- 1 目的 近年、羅臼町においても地域で安心して暮らせるための医療機関の整備や介護施設の整備が進み、徐々に地域包括ケア体制の充実が図られてきているが、その一方で常時専門職員の人手不足がみられる。地域住民が一層安心して住み続けられる町づくりのためには保健・医療・福祉・介護の連携の構築はもとより、専門職員の充実が不可欠である。  
生徒の進路実現に向けた意欲の向上を図るとともに、将来における羅臼町の地域包括ケアを支える人材の育成をするため、関係職種について理解を深めることを目的とする。
- 2 共催 羅臼町役場（保健福祉課長 福田 一輝さん、福祉・介護係長 境 勝敏さん）
- 3 日時 令和3年10月26日（火）13:20～14:10（5時間目）
- 4 対象者 北海道羅臼高等学校 1年生
- 5 会場 北海道羅臼高等学校 体育館
- 6 内容 看護、リハビリ、歯科、介護の各講師により器具・道具など使用した体験セミナーを通じて、仕事のやりがいや魅力などを伝える。（各グループに対し各職種セミナーを概ね10分ずつ）
- 7 講師
- |                          |       |              |
|--------------------------|-------|--------------|
| A. 看護職：知床らうす国保診療所        | 看護師   | 梅田 浩代 さん     |
| B. リハビリ職：地域リハ実践プロジェクトらいふ | 作業療法士 | 竹田 義教 さん     |
|                          | 作業療法士 | 杉本 典子 さん     |
|                          | 言語聴覚士 | 北風 祐子 さん     |
| C. 歯科衛生職：羅臼町役場保健福祉課      | 歯科衛生士 | 福岡 千尋 さん     |
| D. 介護職：グループホーム羅臼しおさい     | 介護福祉士 | 鹿又 洋平 さん     |
|                          | 介護福祉士 | 一戸 宜子 さん     |
|                          |       | 小規模多機能の家しおかぜ |



介護職員から車椅子の介助等についてレクチャーを受けている。



リハビリの専門職員（言語聴覚士）から音叉を使った聴覚の特徴等についてレクチャーを受けている。

講師の皆さま、ありがとうございました。



上部：保健福祉課長より、羅臼町の医療関連企業等に就職する場合の羅臼町からの支援や優遇措置等について、レクチャーを受けている。

中右：歯科衛生士から歯科に関わる作業についてレクチャーを受けている。

下右：看護職（看護師）から看護の仕事についてレクチャーを受けている。

### 《生徒の感想等》

○私はこのセミナーを体験して、一つ一つの職業が社会になくなくてはならない大切な仕事だと感じました。

○看護師さんからは仕事内容ややりがいについて丁寧に説明いただいたのでよくわかりました。

○リハビリ職には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士があります。理学療法士は日常的な手の動かし方や関節を動かす補助をおこない、言語聴覚士は言葉を思い出せない人を話せるようにしたり、ご飯を上手に食べられない人を食べられるようにする仕事だと理解できました。

○歯科衛生士は、歯科医のアシスタント・予防措置・保健指導の三つの役割があり、治療の流れを知っていて、患者さんの異変にいち早く気づき歯科医師に知らせることが求められていることを知りました。

○介護職の現場は、小規模多機能型居宅介護、グループホームの二つがあることを知りました。前者は、施設には住まずにデイサービスや週末の施設への宿泊・訪問などで、後者は、認知症の方などが施設で暮らしているとおっしゃっていました。

○医療や福祉の現場で働いている方のお話を伺う機会はめったにないので、とても貴重な体験になりました。また、どの職業も男性が増えていることを知りました。

○今の日本は高齢者が増えているので、高齢者とどう接しながら助け合っていくのかを自分なりに考え、行動していきたいです。

